



2025年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月13日

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所 東
 コード番号 5572 URL http://ridge-i.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳原 尚史
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(4214)8558
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の連結業績(2024年8月1日~2024年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-----|---|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年7月期第1四半期 | 688 | — | 100 | — | 99 | — | 51 | — |
| 2024年7月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 2025年7月期第1四半期 66百万円(—%) 2024年7月期第1四半期 一百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年7月期第1四半期 | 13.28 | 12.84 |
| 2024年7月期第1四半期 | — | — |

※2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2024年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年7月期第1四半期 | 3,008 | 2,509 | 72.3 |
| 2024年7月期 | 3,043 | 2,440 | 69.7 |

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 2,175百万円 2024年7月期 2,122百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年7月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年7月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年7月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想(2024年8月1日~2025年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|---|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,300 | — | 115 | — | 115 | — | 57 | — | 14.76 |
| 通期 | 2,610 | — | 230 | — | 230 | — | 115 | — | 29.78 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2025年7月期1Q | 3,866,780株 | 2024年7月期 | 3,861,160株 |
| 2025年7月期1Q | 2株 | 2024年7月期 | 2株 |
| 2025年7月期1Q | 3,865,091株 | 2024年7月期1Q | 3,794,128株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、四半期決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当グループは、2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済環境は、景気が緩やかに持ち直されてきているものの、円安進行及び中東や東欧における紛争の影響による資源価格高騰、欧米先進諸国における継続的な物価上昇、世界的な金融政策の変更等により、金融市場や景気動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社を取り巻く国内AI市場においては、「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルの技術革新が進捗し、生成AIの活用に対する注目の高まりにより、生産性向上や競争力強化を目的としたAI関連投資が継続的に行われており、様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。

以上のような環境の中、当社では、カスタムAIソリューション事業において、DX/AI活用アドバイザー、AIシステムの提案及び開発等を行っており、顧客企業のニーズに合わせてデータ・AIアセスメント要件定義からAI開発及び運用保守までを実施しております。当事業を3サービスに区分した当第1四半期連結累計期間の状況について、AI活用コンサルティング・AI開発サービスは、前期から継続している大手企業の顧客からの生成AIテーマのプロジェクトが継続しており加えて新たにデータ基盤活用のプロジェクトも貢献し売上高は196,070千円（前期比32.8%増）となりました。人工衛星データAI解析サービスは、大型案件が完了し保守及び追加開発へ移行しましたが新規案件受注により売上は好調に推移し売上高は120,874千円（前期比159.8%増）となりました。AI保守運用サービスについては、新規案件がありませんでしたが大型の保守運用が継続しており売上高は19,064千円（前期比3.8%増）となりました。

次に、前連結会計年度末に連結子会社となった株式会社スターミュージック・エンタテインメントのデジタルマーケティング事業では、広告代理店及び大手企業に対してソーシャルメディアを活用したマーケティング支援と制作過程で使えるBGM等の音楽の制作配信を行っております。当第1四半期連結累計期間においてはソーシャルメディアを活用したマーケティング市場の拡大による受注増加と音楽配信が好調に推移したことにより売上高は352,050千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は688,059千円となり、営業利益100,221千円、経常利益99,790千円、親会社株主に帰属する四半期純利益51,325千円となりました。

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」のみの単一セグメントでありましたが、前連結会計年度末より、株式会社スターミュージック・エンタテインメントを子会社化し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、単一セグメントから「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分に変更しました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、生成AIや衛星データAI解析等のテーマにした受注が好調に推移したこと等により、売上高は336,009千円、セグメント利益は59,790千円となりました。

②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、引き続きソーシャルメディアマーケティングサービスの市場拡大に伴い受注が増加したことと配信等の音楽サービス収入が好調だったこと等により、売上高は352,050千円、セグメント利益40,431千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,452,602千円となり、前連結会計年度末に比べ15,738千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が19,374千円減少したこと及び未収消費税の還付によりその他の流動資産が28,790千円減少した一方で、継続途中のプロジェクトが増加し売掛金及び契約資産が30,212千円増加したことによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における固定資産は555,438千円となり、前連結会計年度末に比べ19,448千円減少いたしました。これは主に社用車の処分等による固定資産の除売却及び減価償却により有形固定資産が11,294千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は3,008,040千円となり、前連結会計年度末に比べ35,187千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は436,687千円となり、前連結会計年度末に比べ95,554千円減少いたしました。これは主に、当社で継続途中のプロジェクトに対する前連結会計年度末時点の契約負債がプロジェクトの進捗により売上計上が進んだことにより87,962千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は498,956千円となり、前連結会計年度末に比べ103,943千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,509,084千円となり、前連結会計年度末に比べ68,755千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が51,325千円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の連結業績予想につきましては、2024年9月11日公表の「2024年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更ありません。

なお、当連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年7月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,116,037 | 2,096,662 |
| 売掛金及び契約資産 | 285,496 | 315,709 |
| 仕掛品 | 1,050 | 2,229 |
| 前払費用 | 22,183 | 23,219 |
| その他 | 43,572 | 14,781 |
| 流動資産合計 | 2,468,340 | 2,452,602 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 87,611 | 76,316 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 333,116 | 324,788 |
| その他 | 37,882 | 39,396 |
| 無形固定資産合計 | 370,998 | 364,185 |
| 投資その他の資産 | 116,277 | 114,936 |
| 固定資産合計 | 574,887 | 555,438 |
| 資産合計 | 3,043,228 | 3,008,040 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 160,065 | 182,185 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 48,106 | 38,469 |
| 未払金 | 122,190 | 61,541 |
| 未払法人税等 | 18,671 | 44,069 |
| 契約負債 | 122,175 | 34,212 |
| 賞与引当金 | 3,379 | 29,730 |
| その他 | 57,653 | 46,479 |
| 流動負債合計 | 532,241 | 436,687 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 47,237 | 38,906 |
| 資産除去債務 | 17,553 | 17,578 |
| 繰延税金負債 | 5,867 | 5,784 |
| 固定負債合計 | 70,657 | 62,268 |
| 負債合計 | 602,899 | 498,956 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年7月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日) |
|---------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 21,465 | 22,551 |
| 資本剰余金 | 1,945,140 | 1,946,226 |
| 利益剰余金 | 155,797 | 207,122 |
| 自己株式 | △1 | △1 |
| 株主資本合計 | 2,122,401 | 2,175,898 |
| 新株予約権 | 1,590 | 1,590 |
| 非支配株主持分 | 316,336 | 331,595 |
| 純資産合計 | 2,440,328 | 2,509,084 |
| 負債純資産合計 | 3,043,228 | 3,008,040 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日) |
|------------------|--|
| 売上高 | 688,059 |
| 売上原価 | 328,370 |
| 売上総利益 | 359,689 |
| 販売費及び一般管理費 | 259,467 |
| 営業利益 | 100,221 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 205 |
| 助成金収入 | 720 |
| 講演料収入 | 141 |
| その他 | 321 |
| 営業外収益合計 | 1,388 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 236 |
| 為替差損 | 69 |
| 固定資産除売却損 | 1,513 |
| 営業外費用合計 | 1,819 |
| 経常利益 | 99,790 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 99,790 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 33,207 |
| 法人税等合計 | 33,207 |
| 四半期純利益 | 66,583 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 15,258 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 51,325 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日) |
|-----------------|--|
| 四半期純利益 | 66,583 |
| 四半期包括利益 | 66,583 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 51,325 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 15,258 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日) |
|--------|--|
| 減価償却費 | 9,916千円 |
| のれん償却額 | 8,327 " |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自2024年8月1日至2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額(注) |
|-------------------|-----------------|---------------|---------|-----|------------------|
| | カスタムAIソリューション事業 | デジタルマーケティング事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 336,009 | 352,050 | 688,059 | — | 688,059 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 336,009 | 352,050 | 688,059 | — | 688,059 |
| セグメント利益 | 59,790 | 40,431 | 100,221 | — | 100,221 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」のみの単一セグメントでありましたが、前連結会計年度に株式会社スターミュージック・エンタテインメントの株式を取得したため当該事業を「デジタルマーケティング事業」として定義し、AIを強みとしてこの2つの事業の成長を目指すことを方針としております。これにより、当第1四半期連結累計期間より、単一セグメントから「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分により開示しております。